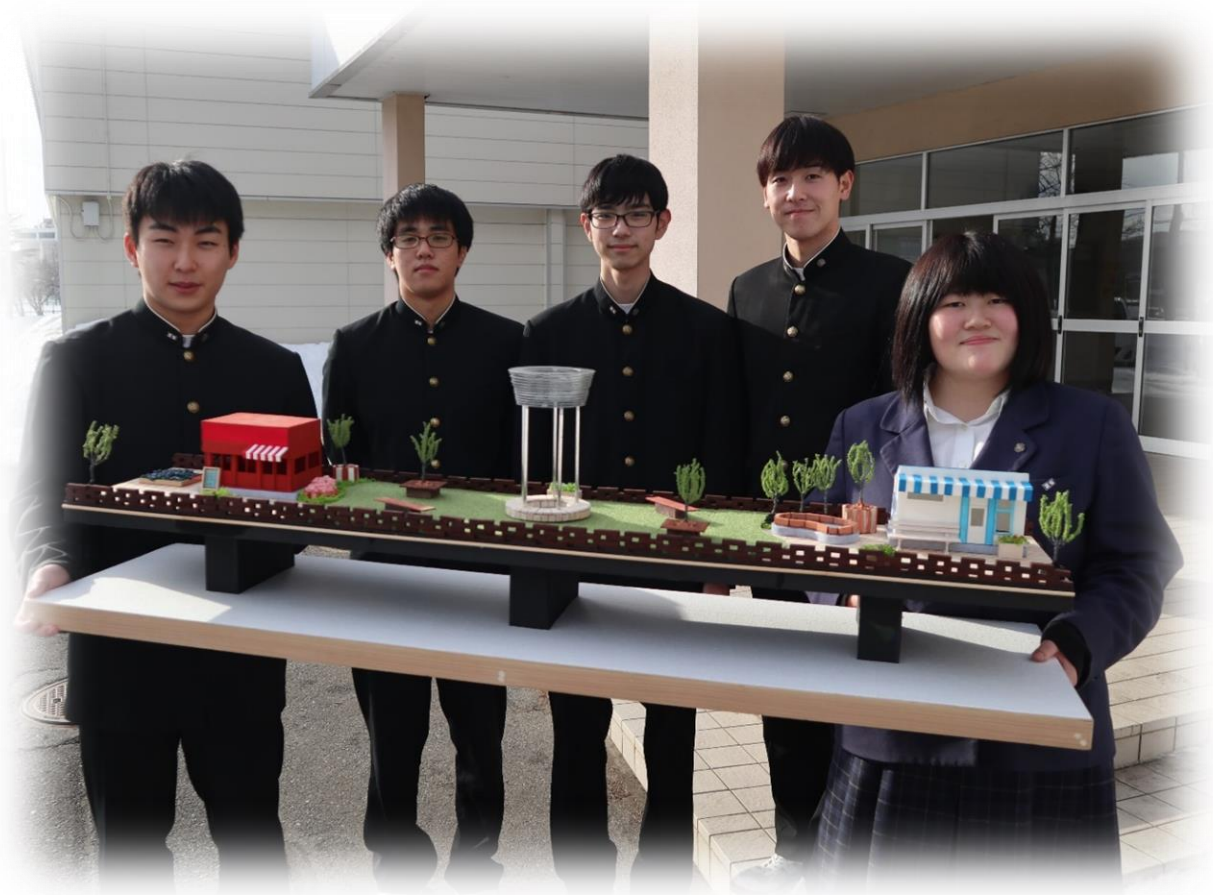


青森県立八戸工業高等学校 土木建築科

橋梁模型製作

3年 土木建築科

津島 海翔
林 創吾
十文字 瑞樹
若松 小弥加
藤田 大綺



Planning 計画



Suppose 想像する橋・想定

水辺や緑と市民が触れ合い、
人々が集う空間となる橋をイ
メージして、想像橋を造る
ことにしました。



橋梁名 人が集まり繋がる憩いの橋

Motive **この橋を造りたいと考えた動機**

人類は川や水辺で生活するために、船や橋等の交通・生活手段を発明し、繁栄してきました。

橋は川岸を結ぶ生活のための交通機能だけでなく、人間の関わりや文化を生みだしてきています。



私たちは、交通機能を担う橋の設計に、人々が誰とでも楽しく交流しくつろげる有意義な空間を組み込みたいと考え、オリジナルの橋をデザインしました。



Production 製作



Impression 感想

■藤 田■

少しずつ形になるにつれ、各制作メンバーが各自の発想や工作した部品を持ち寄るようになり、その配置を決めたり発展させていく過程が楽しかったです。

自然をリアルに再現するのが大変でしたが、イメージ通りに再現することができたと思っています。

■ 林 ■

ここで感じたチームの協調性の大切さを、将来に生かしたいと思います。

■若 松■

独自のデザインを考えことの面白さや難しさを知ることができました。

